

**堀内議員** 通告どおり2点質問させていただきます。まず町財政の状況は。自主財源を増やすには、人を呼びこみ、地方消費税を増やすことが最も効率的だと考えますが、企業誘致によって法人税収を増やすには地理的にもハードルが高い。これからは、地域の個性と独自性を伸ばし、人を呼びこむ力を身につけて自主財源を増やす取り組みが自治体には求められるはずで。また、その目的を達成するには、コスト管理や投資効率に優れた経営の発想が必要になり、地元企業や一次産業関係者との話し合いを活発化させる必要があります。しかし、職員の多くは、日々の業務に追われていると聞きます。そうした現状を変えるためにも、地域住民や団体、NPOとのネットワークを活かし、民間に任せられる業務を大胆にアウトソーシングすべきときが来ていると思いますので、見解を求めます。次に、牟岐人アプリの進捗状況は。SNSやアプリの利用者を増やすためには、独自のサービスや情報発信が必要だと言われてはいますが、現状改善の余地が多く感じます。地方自治体が運営するアプリですので、議会や委員会でのどのような話し合いが行われているか、発信をすることにより独自性が出せると思います。検討してみても良いのでは。また、サービス開始からの進捗状況は順調か。以上、2点質問します。

**一山議長** 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

**枳富町長** 堀内議員の「町財政の状況は」のご質問にお答えします。牟岐町の財政状況につきましては、現在、令和2年度決算の分析を行っている最中です。詳細につきましては、9月議会で、健全化判断比率及び資金不足比率を報告するとともに監査委員からの各会計の決算審査意見書によりご報告することとなりますが、現時点で把握している状況について、ご報告させていただきます。牟岐町の普通会計の年度ごとの収支では、平成29年度、平成30年度、令和元年度と実質単年度収支は、マイナスでしたが、令和2年度はプラスとなる見

込みです。次に、一般会計における地方債残高は約40億円で、基金は約12億円です。令和元年度と比較して、令和2年度末の地方債残高及び基金の金額は、ほとんど横ばいです。町財政を一般家庭に例えますと、地方債残高が借金で、基金が貯金のようなものです。牟岐町は、貯金より借金の方が大きく上回っている状況に変わりありません。新型コロナウイルス感染症対策の影響で、国・県・町の支出が増大し、今後、厳しい財政運営が強いられることが必須です。そのような状況下のもと牟岐町単独で健全な財政運営をするためには、費用対効果を検証し、事務事業の見直し、補助金の見直しなど行うとともに業務改革を図り特にランニングコストに注視し、将来を見据えた維持管理コストの削減を図ることが必要と考えています。そのためにも堀内議員のおっしゃるとおり、コスト管理や費用対効果を追求するとともに民間にまかせられる業務があればアウトソーシング（外部委託）するなどし、行政のスリム化と財政の健全化に努めていきたいと考えています。次に、牟岐人アプリの進捗状況についてお答えします。堀内議員のおっしゃられるとおり、牟岐人アプリの利用者を増やすためには、独自のサービスや情報発信が必要です。牟岐人アプリの運営について、現在は、ニュースフィールドを中心に町民の方々の身近な情報や、イベント情報等のコミュニティーツールとして、ご利用いただいています。議会や委員会の情報発信につきましては、牟岐町役場ホームページに広報むぎを掲載していますので、そちらでご覧いただきたいと考えていますが、牟岐人アプリ内では、より地域に根差したリアルタイムな情報発信を進めていく所存です。サービス開始からの進捗状況につきましては、堀内議員もご存じのことと思いますが、牟岐人アプリは、令和2年12月にリリースがなされ、約半年が経過していますが、現在の登録者は201名です。使いにくいというお声もいただいていますので、まだまだ現状改善について検討の余地があると考えています。以上です。よろしくお願いいたします。

一山議長 堀内議員。

**堀内議員** ありがとうございます。町財政は、実質単年度収支はあれですけど、横ばいかなという認識なんですけど、かなり厳しい状況が増えてくると思います。それは、地方自治体すべての問題だと思えますけど、地域の特質を出していかないと、なかなか生き残っていくのは難しいかと、その点では、地域の企業、団体、一次産業の方と話し合う機会を増やしていくのが、私は光が照らしてくれるのかなと考えますし、地元の団体、一次産業の方々も、いろいろ話したいこともよくあるというふうに聞きます。具体的に話したいことはないんですけど、相談する機会が増えたら、いろいろ知恵を絞りたいという意見も聞きますので、そのためにも職員の方の時間を作るためにも、民間に頼めるものとかは、どんどん頼んでいただきたい。先ほど、財政が厳しい中で、補助金等の見直しというのも、ある程度、必要になってくるかなと思うんですけど、先ほどのシルバー人材の件もありますし、いろんな団体のこともありますし、残ってほしい団体、もしくは、今、コロナで凄惨な仕事が増えてとか委託していただける団体、こちら辺は、増額を考えてもいい団体も私はあるのではないかと考えます。町民の方に言われるのは、補助金を下げられたら議員の報酬を下げろと言われますので、そう言われぬように頑張って勉強していきたいと思います。あとアプリの状況なんですけど、先ほど、私の前の前の答弁があったとおり、すみ分けを考えていくという意見があったと思います。議会の内容はホームページなんですけど、やはり広報というのは、広く知らしめるというので、紙媒体では、その情報は見えて、SNSでは、この情報が見えてというふうに分ける必要が殆どないと思います。紙媒体でも見える、SNSも見える。利用者の方が使いやすい方を選ぶ、これは広く知らしめる活動になると思います。牟岐人アプリは、個人的には、自治体のアプリというのは、おもしろい試みなので、どんどん拡がっていけばいいと思いますが、特質をやっぱり出したい。既存のSNSとの特質では、なかなかちょっと、そのどこが違うのかなという意見を聞きますので、町内の情報、既存

のSNSだったら、イベント情報中心だったりとかという発信で、観光協会、牟岐人がやってくれていると思うのですが、町の独自の情報というのは、牟岐人アプリでも出していった方がいいのかな、ワクチンのことに関してもそうですし、議会でこういう話がされましたというのはこうです。そこら辺は、まだ始まったばかりのことだと思いますので、どんどん検討していただきたいと思います。以上で質問を終わります。